

<全体分析>

試験時間 2科目120分

解答形式

記述, 論述, 選択

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・変化なし・やや増加・増加)

難易 (易化・やや易化・変化なし・やや難化・難化)

大問数は昨年と同じ3題であり, 論述量は昨年とほぼ同等であったが, 昨年まで出題されていた描図問題が出題されなかったため, 全体の分量は昨年よりやや減少した。また, 昨年と同様に知識を問う論述問題の出題が多かったが, 難度の高い考察問題が昨年よりも減少したため, 難易度は昨年よりやや易化した。

出題の特徴と昨年との変更点

- ・出題の中心は論述問題であり, 知識論述のほか, 実験案を考える問題などが出題される。
- ・全体の分量が多く, 試験時間内にすべての設問に解答するのは難しい。
- ・例年は描図問題の出題頻度が高いが, 今年は出題されなかった。

その他トピックス

新型コロナウイルス感染症に関する問題が出題された。

<大問分析>

番号	出題形式	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
1	記述 論述	循環 代謝 免疫	生物基礎 生物	問題1 b) 動脈血の酸素飽和度は, 新型コロナウイルス感染症の重症度の判定にも用いられる。	やや易
2	記述 論述 選択	進化 免疫 生殖 排出 神経 動物の行動 遺伝子	生物基礎 生物	問題2 ② メカニズムについては, 解答例以外に, 薬物に対する感受性が時計遺伝子の支配を受けている可能性なども考えられる。	標準
3	記述 論述 選択	ホルモン 免疫 細胞 動物の行動 感覚	生物基礎 生物	問題1 g) イトヨの行動については, 求愛行動について解答してもよいだろう。 問題2 解答例以外の解答も考えられるが, イ)では, ア)で解答した刺激の特徴についてさらに詳しく調べる実験を解答しなくてはならない。	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で, 当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

- ・教科書レベルの基本的な知識を身につけ, これを正確に論述できるように練習を重ねよう。
- ・過去問の演習を通して, 東京医科歯科大で特徴的な出題に慣れておこう。
- ・描図問題の対策として, 教科書に記載されている図やグラフをよく確認しておこう。
- ・試験時間に対して問題量が膨大なので, 問題演習を重ねて問題文の読解や解答作成の速度を上げるとともに, 自分が解ける問題から解き始める習慣を身につけよう。